

[wakahara_9]

活動タイトル	芸術の森野外美術館解説ボランティアの自主研修
実施日	2025 年 9 月 20 日（土）
場所	芸術の森センターレクチャー室（札幌市）
対象数	30 名
内容 ○ねらい 野外活動をするボランティアが気象に関心を持ち、天気の変遷時にお客様とボランティア本人が安全に活動できることが目的。 ○実施内容 タイトルは「命を守る気象の話」 1、地球は奇跡の星である。適温、水、空気、太陽光、重力の存在など。 2、水の循環が最近異常になってきた。 3、空を見て雲と親しくなろう。観天望気は楽しい。 4、雲の役割 10 種の雲とは？ 5、大気光象 青空、白い雲、虹や彩雲・ハロなど。 6、一番危険な雲は？ 地震雲はない。 7、雷や竜巻から身を守る。積乱雲を知ること。 8、大雨時の対応 予想される災害。 9、大雨特別警報 線状降水帯とは。 10、防災気象情報の利用 キキクル ナウキャスト ハザードマップなど。 11、今夏の記録的高温 熱中症の予防。 12、この命の星を愛し、温暖化防止に努める。 13、防災の心得 14、いざというとき ○配布資料 スライド資料 48 枚 A4 1 枚 「防災の心得」と「いざというとき」 ○感想 雲を描いた浮世絵や日本画の作品を交えて雲に関心を持ち、気象を身近に感じていただきました。観天望気とスマホで積乱雲をキャッチすると、早めの対応ができる話など、受講者も感心されていました。皆さん大変満足されたようです。	